

審判上の注意

- 1 本大会は、平成22年度（財）日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程並びに同公認審判員規程により行います。
- 2 試合開始の場内放送後いかなる理由があっても、10分経過して当該選手がコートに入らない場合は棄権とみなします。その最終判断は、すべてレフェリーが行います。
- 3 連続試合の場合は、原則として試合終了後15分の間隔を置き、次の試合を始めます。
- 4 全ての計時は、レフェリーもしくは主審によってなされます。
- 5 シャトルの交換は、主審が必要かどうかを決定します。
- 6 試合中の水分補給については、必ず主審の許可を得てください。容器については蓋付きのものとし、床面にこぼさないように注意してください。
飲料容器は衣類カゴに入れるようにしてください。
- 7 コーチングシート（コーチ席）は、所定の位置に2席用意してあります。
- 8 試合時の服装で、色付き着衣を使用する場合は（財）日本バドミントン協会の審査合格品とし、上衣の背面には都道府県名を明記してください。なお、日本リーグ、全日本実業団大会、全日本レディース大会及び全日本教職員大会に使用したものも可とします。
- 9 試合中のけがや病気の場合は、主審の判断によってレフェリーを呼び、レフェリーが医療役員やその他の人をコートに呼ぶ必要があるかどうかの判断を下します。
なお、試合中のけがや病気の応急処置は主催者側で行いますが、その後の処置については各自の責任で行ってください。
- 10 準決勝、決勝を除き、本大会の主審と一部線審は、福岡県バドミントン協会が行いますが、敗者は次の試合の線審となります。試合終了後、敗者の方はそのコートで待機してください。
競技最終日（準決勝、決勝）の審判はすべて福岡県バドミントン協会で行います。
- 11 審判構成は主審、線審2名でサービスジャッジは原則として配置しません。
ただし、準決勝、決勝は主審、線審4名で行います。